

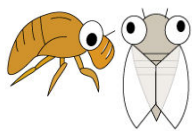
「みんなで調べた富山市の自然 2014」報告会のポイント

富山市科学博物館

3月7日(土)15:00-16:30

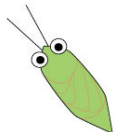
登録参加者数	155名(2013年度は127名)
集積データ数	3789件(2014年3月15日時点は2613件)
結果公表	2012年9月から、ホームページで分布図を公開中。内容は随時更新。 最新は2014年12月20日版。 2012年10月から館2階ロビーの専用展示コーナーに分布図等を掲示。

各調査種の結果(スクリーンに分布図などを表示して説明します)



セミ(抜け殻・成虫・鳴き声)

ニイニゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ、ハルゼミ、ミンミンゼミ(報告数の多い順)の6種の報告がありました。これらは、昨年同様、市内に生息する主な種でした。山地棲の種類の報告がないのが残念でした。



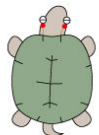
アオマツムシ

8月下旬から9月下旬まで、市内の平地一円から丘陵地にかけての報告がありました。市内での分布の様子はおおよそ分かったものと思われます。



ホタル

ゲンジボタルが7件、ヘイケボタルが4件の追加報告がありましたが、予想よりまだ少なく、今後も継続調査が必要と思われます。



アカミミガメ

郊外の池や小河川、平野部の沼地など、松川でもみつかっています。



ニホンジカ

目撃例は多くありませんが、婦中地域で交通事故死のデータが増えています。



カエル

トノサマガエルは、郊外の水田で見つかっています。ウシガエルは郊外の池で見つかっていますが、昔いた運河では報告はありません。



スズメ

平野から里山の集落までの広い範囲で見つかっていますが、里山では平地ほど多くありません。屋根裏や道路標識などいろいろな場所を巣に利用しています。



カッコウ

市街地で春に鳴き声が聞かれます。山地での報告は多くありません。



カワセミ

市内の川などで見つかっていますが、多くありません。



キジ

神通川や常願寺川下流の河川敷や堤防、郊外の水田、呉羽丘陵や射水丘陵でも見つかりました。広く分布しています。



ヒガンバナ

2014 年の開花時期は、平年並みでした。1 週間遅かった 2012 年の記録がいっそう特徴的に見えてきました。



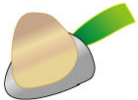
ソメイヨシノの花を見た日

松川べりは、2014 年も富山地方気象台の標本木より 2 日早く咲きました。市内の桜前線は、7 日ほどで呉羽山から山田地区、猿倉山山頂へと通り過ぎていきます。



ヒメオドリコソウの広がり

市街地及び郊外にはほぼ普通に生育していることがわかりました。将来、より山間地に入り込んでいく可能性があるので、現時点でどこまで広がっているかを調べておきたいところです。



富山市の土の色

富山市内の土 118 試料（うち 12 試料未整理）が集まりました。すべて異なる色でしたが、標準土色帖にもとづくと 46 色に分類されます。



酸性雨

6 月は梅雨前線、9 月は秋雨前線と台風による雨を狙いましたが、どちらも、降雨量は少なめでした。6 月の調査では pH4.0 以下の強い酸性雨が、9 月の調査では pH4.3 以下の比較的強い酸性雨が市の中心部や南部、水橋地区で観測されました。12 月の調査では、強い冬型気圧配置による積雪もあり、期間中の降雨量が 100mm を超える場所もありました。市の南部、東部、水橋地区などで pH4.3 以下の比較的強い酸性雨が観測されました。



アカトンボ

市内での棲息が予想される 11 種のうち、7 種が報告されました。種数としては多かったのですが、種の報告場所は少なく、調査の継続が必要です。

「富山市の身近な自然調査 2015」で追加されるもの



カルガモ

ヨチヨチ歩きのお引越し姿で人気の水辺に生活するカルガモの分布を調べます。

3 月下旬から、ソメイヨシノとヒメオドリコソウの調査がはじまります。

調査のタイミングや報告の方法については、登録電子メールでお知らせいたします。

調査の詳細は「富山市の身近な自然調査」のページで公開しています。